

日本地方自治研究学会

第43回全国大会プログラム

統一テーマ

“シン”・レジリエンスと自治

—ポスト新自由主義時代の〈再び備える社会へ〉—

2026年9月26日(土)・27日(日)

共催：国立大学法人 和歌山大学

会場 和歌山大学(講義棟 東1号館)

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 番地 和歌山大学経済学部



国立大学法人

和歌山大学

ごあいさつ

2026（令和8）年9月26日（土）・27日（日）に、日本地方自治研究学会第43回全国大会を和歌山大学にて開催する運びとなりました。今大会の統一テーマは、「“シン”・レジリエンスと自治—ポスト新自由主義時代の〈再び備える社会へ〉—」です。

「失われた30年」と呼ばれた長いデフレの時代を経て、わが国は再びインフレの時代を迎えています。1980年代以降に本格化した新自由主義的思考のもと、公共部門においても「ムダの削減」や「民間に学ぶ」ことが重視され、効率性や短期的な合理性を追求する制度・組織運営が進められてきました。その過程では、余力や冗長性といった「備え」も縮減されてきたと考えられます。一方、今日の地域社会は、災害の多発、人口減少、財政制約などが重なり合い、不確実性が常態化する複合的なリスクに直面しています。

また、この間、自治のあり方も大きく変容してきました。地域の課題に行政のみで対応するのではなく、住民、企業、地域団体をはじめとする多様なアクターが協働し、ネットワークを形成しながら地域を支えることが求められています。こうした新たな時代において、効率性のみならず、変化や危機に対応し、そこから回復し、さらに新たな地域のあり方をつくり出していく「レジリエンス」をいかに高めていくのか。本大会では、「再び備える社会」という視点から、これからの自治と地域社会のあり方を考えます。

第1日目（9月26日）は、本大会の統一テーマを踏まえ、「レジリエンス時代の地域づくり」と題したシンポジウムを開催します。パネリストには、株式会社ロカリスト代表取締役の柿本真樹氏、和歌山県議会議員の岩永淳志氏、株式会社TierMind代表取締役の西山泰仙氏、田辺市商工振興課長の鍋屋安則氏をお迎えします。NPMに代表される効率性重視の行政運営を超えて、しなやかさや余力、つながりが求められるレジリエンスの時代に、地域がいかにして「再び備える社会」をつくることができるのか。それぞれの実践やご経験をもとに、持続可能な地域社会を形成するための方策について議論します。

第2日目（9月27日）は、新たな試みとして、エクスカージョンを企画いたしました。今回は、商店街再生に取り組む和歌山市中心市街地の「北ぶらくり丁商店街」を訪れます。地域の方々による自立的な再生の現場を実際に視察するとともに、商店街の再生に携わる方々から直接お話を伺います。地域が自らの資源やネットワークを活かしながら再生に取り組む実践を通じて、本大会のテーマである地域のレジリエンスについて考える機会となれば幸いです。

本大会が、地方自治をめぐる研究と実践のさらなる発展に寄与するとともに、研究者と実務家の皆様が交流し、新たな知見を共有する機会となることを願っております。多くの会員の皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

第43回全国大会実行委員長 関下弘樹（和歌山大学）

大会参加方法

1. 参加登録フォームと名刺持参

・大会参加者は、次の参加登録フォームにて必要事項の入力を
お願いいたします。＜入力期限：**9月16日(水)**＞

＜参加登録フォーム＞

<https://forms.gle/F6EqfFgyJ4HnHzp37>



・ご参加の際には必ず名刺をご持参ください。会場でお渡しするネックストラップの名刺ケースに名刺を入れてご参加下さい。

2. 費用

参加費・懇親会費等は、準備の都合上、**9月16日(水)**までに Peatix（カード払い）でお申し込みいただくか、下記の口座までお振込みいただきますようお願い申し上げます。口座名義は、実行委員長名（セキシタヒロキ/関下弘樹）としております。なお、会開催にもかかわらず当日参加されなかった場合、懇親会費及び大会参加費は払い戻しいたしません。その点ご了承ください。

振込期日:2026 年 9 月 16 日(水)

大会参加費	個人会員	2,000 円
	学生会員	1,000 円
	非会員	4,000 円
懇親会費	5,000 円（当日参加:6,000 円）	
お弁当代(9/26 昼分)	1,000 円	※理事会出席者を除く
お弁当代(9/27 昼分)	1,000 円	※エキスカーション参加者

※大学近隣に、イオンモール和歌山があり飲食店もありますが、徒歩約 20 分（バス 4 分・1 時間 2 本）です。コンビニは大学付近にセブンイレブンがあります（徒歩 10 分）。

＜Peatix からお申込みする場合＞ URL: <https://peatix.com/event/5049642>

参加費については、個人・学生・非会員をいずれか 1 つ選び、懇親会・お弁当も同時にお申し込みください。

クレジットカード決済にてお支払い下さい（コンビニ支払は対応しません）。

＜銀行等の郵便局以外からお振込みする場合＞

【店名（店番）】 ○九九（ゼロキュウキュウ）店（099）

【預金種目】 当座

【口座番号】 0 1 9 9 1 0 4

【口座名称】 セキシタ ヒロキ

3. 受付開始時間とWiFi

- ・ 受付開始時間は、第1日(26日)8:50～、第2日(27日)8:30～です。
- ・ 和歌山大学東1号館(p.10 大学構内マップ参照)に受付を設置しております。
- ・ 会場内のWi-Fiにつきましては、当日受付でご案内いたします。

4. 登壇者のご準備

- ・ 本大会は対面で実施いたします。報告者、座長、討論者の方々は、各セッションの15分前には会場にお入りいただき、お打ち合わせ等をお願い致します。
- ・ 報告者はUSBにパワーポイント等の報告ファイルを保存のうえご持参いただき、会場に備え付きのノートPCのデスクトップ上に開始時間までに保存してください。
- ・ 報告者が配付資料を持参される場合は、適宜会場内で配布をお願いします。

5. 予稿集

- ・ 予稿集は、日本地方自治研究学会ホームページ(<https://chihojichi.org/kaiin/taikai/>)に9月初旬に掲載します。予稿集掲載のページのIDとパスワードはID: ●●●●●●、P/W: ●●●●●●です。当該パスワードは、参加者ご自身のみで利用し、決して他者に教えないようにお願いいたします。
- ・ 実行委員会の方で配布資料や予稿集の印刷は行いませんので、予めご了承くださいませよう、お願い致します。

6. 全体スケジュール

第1日:9月26日(土)

	第1会場 E1-205	第2会場 E1-206	第3会場 E1-101	第4会場 E1-103
09:30～11:45	自由論題 セッション1	自由論題 セッション2	企画 セッション	研究部会 セッション
12:00～13:30	理事会(E1-203 講義室)			
13:30～14:00	休憩			
14:00～16:10	シンポジウム(E1-101 講義室)			
16:20～17:10	会員総会(E1-101 講義室)			
17:30～19:30	懇親会(学生食堂)			

第2日:9月27日(日)

	第1会場 E1-205	第2会場 E1-206	第3会場 E1-101	第4会場 E1-103
09:30～11:45	自由論題 セッション3	自由論題 セッション4	企画 シンポジウム	研究部会 セッション
12:00～13:00	クロージング(E1-101 講義室)			
13:00～13:30	休憩			
13:30～15:00	特別企画・エクスカーショ(和歌山市内)			

※26・27日両日とも大学院入試のため、会場以外に立ち入らないようお願い致します

税理士のみなさまへ

以下の企画セッションと企画シンポジウムが「日本税理士会連合会が指定する研修」として承認されています。

税理士の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

- 9月26日(土): 9:30~11:45 企画セッション: 地方税等による財源強化
- 9月27日(日): 9:30~11:45 企画シンポジウム: 税による財源確保

第 1 日目 (9 月 26 日(土))

研究部会セッション (場所: E1-103 講義室) 09:30~11:45

【最終報告】制度の隙間にいる人々への事例研究

「ソーシャル・キャピタルからみた都市社会政策～分断社会から包摂社会へ」

座長: 石田成則 (東京経済大学)

第 1 報告 多角的格差社会の基本的視座—金融排除から社会的排除まで—

報告者 石田成則 (東京経済大学)

第 2 報告 民生委員活動からみる顔の見える支援—地域のつながり・官民連携の視点から—

報告者 時野真由美 (関西大学大学院)

第 3 報告 就労困難者に向けた伴走型支援

報告者 八重島崇宏 (福岡大学)

第 4 報告 日本における在留外国人による機能別消防団にみる相互扶助活動

報告者 佐藤淳子 (関西大学大学院)

自由論題セッション I (場所: E1-205 講義室)

座長: 石田晴美 (立教大学) 報告 25 分、討論 10 分、質疑 5 分

第 1 報告 09:30~10:10 県庁所在地立地が偏在している県の課題

—奈良県・和歌山県の事例を中心に—

報告者 山中鹿次 (NPO 法人近畿地域活性化ネットワーク)

討論者 稲生信男 (早稲田大学)

第 2 報告 10:15~10:55 日本の町における「よくある質問 (FAQ)」の公開状況

報告者 本田正美 (関東学院大学)

討論者 野田遊 (同志社大学)

第 3 報告 11:00~11:40 自治体の政策評価指標の体系化・構造化の検討

—公立病院における医療の質評価の経年分析を事例として—

報告者 茂木康俊 (南山大学)

討論者 水野和佳奈 (岐阜共立大学)

自由論題セッション 2 (場所: E1-206 講義室)

座長: 松岡清志 (静岡県立大学) 報告 25 分、討論 10 分、質疑 5 分

第 1 報告 09:30~10:10 CHIPS 法の下での半導体企業の誘致: 州政府の政策を中心に

報告者 相原勇希 (明治大学大学院)

討論者 明石照久（一般社団法人たらぎまちづくり推進機構）

第2報告 10:15～10:55 地方公共団体における外国人材誘致政策

—グローバル生産ネットワーク論と地域産業政策研究の接合—

報告者 尾中政憲（追手門学院大学院生）

藤原直樹（追手門学院大学）

討論者 上拂耕生（熊本県立大学）

第3報告 11:00～11:40 ドローンの複合的活用による、条件不利地域の自治体の価値創造

—広域災害への対応策を視野に入れて—

報告者 井上あい子（a i 株式会社）

討論者 田代昌孝（桃山学院大学）

企画セッション：地方税等による財源強化（場所：E1-101 講義室）

座長：小野島真（明治大学） 報告 20 分、討論 10 分、質疑 5 分

第1報告 9:30～10:05 市町村の財源調達手法について

報告者 中村稔彦（長野県立大学）

討論者 兼村高文（NPO法人市民ガバナンスネットワーク）

星野泉（明治大学）

第2報告 10:05～10:40 沖縄県における宿泊税の検討

—法定外目的税と産業構造の視点から—

報告者 高 哲央（沖縄国際大学）

討論者 渡邊修朗（城西国際大学）

第3報告 10:40～11:15 税による財源強化

報告者 星野泉（明治大学）

討論者 兼村高文（NPO法人市民ガバナンスネットワーク）

第4報告 11:15～11:50 自主財源としての「ふるさと納税」の位置付け

報告者 稲田圭祐（和光大学）

討論者 李 熙錫（城西大学）

12:00～13:30 理事会

13:30～14:00 休憩

○ シンポジウム（一般公開・無料／E1-101 講義室）

「“シン”・レジリエンスと自治」

司会 関下弘樹（和歌山大学）

14:00～14:10 開会挨拶

星野 泉（日本地方自治研究学会会長・明治大学教授）

14:10～16:00 パネルディカッション

「レジリエンス時代の地域づくり」

<パネリスト> 五十音順

岩永 淳志（和歌山県議会議員）

柿谷真樹人（株式会社ロカリスト代表取締役）

鍋屋 安則（田辺市商工振興課長/熊本大学客員教授）

西山 泰山（株式会社 TierMind 代表取締役）

<モデレーター>

関下 弘樹（和歌山大学准教授）

16:10 閉会

16:20～17:10 会員総会

17:30～19:30 懇親会（学生食堂）

第2日目（9月27日(日)）

研究部会セッション（場所：E1-103 講義室） 09:30～11:45

【最終報告】観光立国と地域社会の共栄—調和ある発展と地方自治体の役割—

座長：手塚雅之（NPO法人市民ガバナンスネットワーク理事）

第1報告 政府の観光立国への取り組みと自治体の責務

報告者 兼村高文（NPO法人市民ガバナンスネットワーク理事長）

第2報告 北陸観光拠点金沢市の現状と取り組み

報告者 手塚雅之（NPO法人市民ガバナンスネットワーク理事）

第3報告 住民の生活環境を守り、観光客との共生を図るために

報告者 日野義弘（ブリヤンテ合同会社代表）

第4報告 韓国のオーバーツーリズム：ソウル市の対策中心に

報告者 洪萬杓（韓国世宗特別自治市海外協力官・

大阪商業大学客員研究員）

自由論題セッション3（場所：E1-205 講義室）

座長：小川長（福山平成大学） 報告 25分、討論 10分、質疑 5分

第1報告 09:30～10:10 地域食資源を活用した新たな地域発展経路形成と周辺アクター

—備前市日生町「カキお好み焼き研究会」の地域ブランド形成—

報告者 近藤健一（兵庫県庁）

藤原直樹（追手門学院大学）

討論者 三浦留美（城西大学）

第2報告 10:15～10:55 スポーツクラブのサステナビリティ活動が地域に与えるインパクト

報告者 福本陽大（横浜国立大学大学院）

曹 勁（横浜国立大学）

大森 明（横浜国立大学）

討論者 岡村 誠（東海学園大学）

第3報告 11:00～11:40 地域のみなとを活用した経営学教育がもたらす地方自治の未来

—金沢港を例とした教育モデルの構築—

報告者 辰巳佳彦（金沢星稜大学女子短期大学部）

討論者 田中 優（日本福祉大学）

自由論題セッション 4（場所：E1-206 講義室）

座長：坂野喜隆（流通経済大学） 報告 25 分、討論 10 分、質疑 5 分

第 1 報告 09:30～10:10 人口減少下における都道府県・市町村間の業務重複と調整過程

—補完・広域調整としての都道府県業務に着目して—

報告者 高崎滋之（同志社大学大学院）

討論者 井寺美穂（熊本県立大学）

第 2 報告 10:15～10:55 1970・1980 年代の国民健康保険制度の政府間関係の形成過程

—地方行財政制度との関係に着目して—

報告者 原田悠希（東海大学）

討論者 有馬晋作（鹿児島大学）

第 3 報告 11:00～11:40 総合計画の制度的慣性から見る自治体計画の課題

—BANI 時代における構想と学習の視点から—

報告者 畑 正夫（神戸国際大学）

討論者 藤原直樹（追手門学院大学）

企画シンポジウム：税による財源確保（場所：E1-101 講義室） 09:30～11:45

コーディネーター：星野泉（明治大学）

パネリスト：石田和之（関西大学） （五十音順）

桑原美香（福井県立大学）

半谷俊彦（和光大学）

柳下正和（城西大学）

12:00～12:30 クロージング・セッション（場所：E1-101 講義室）

○ 特別企画（希望者のみ）

エクスカージョン：商店街再生の現状と課題

—北ぶらくり丁の再生を例に—

13:30 移動（集合場所：和歌山バス 和歌山大学バス停）

14:00 北ぶらくり丁（北ぶら BASE）

大学構内案内図



キャンパス マップ



詳しくはこちら



駐車場 P5 (お車の場合)
奥側の駐車場をご使用ください。

※E2 棟改修工事につき、
手前の駐車場は工事車両
用となっております。

E1 (東1号館)
・研究部会報告
・自由論題報告
・シンポジウム

エクスカッション集合場所
・大学バス停

アクセスマップ

- 和歌山大学（和歌山市栄谷 930 番地）

※いずれも「和歌山大学」バス停下車

- 南海和歌山大学前駅から（110 円）

徒歩で約 20 分

和歌山バス（和歌山大学前駅東口ターミナル 2 番のりば：272 系統・273 系統・472 系統）で約 4 分

- 南海和歌山市駅から（350 円）

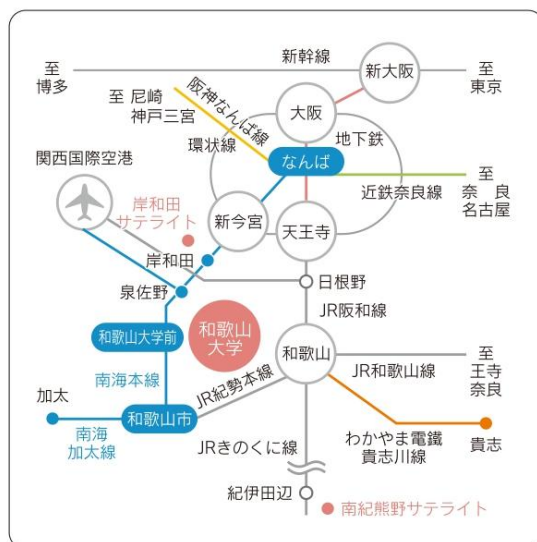
和歌山バス（4 番のりば：273 系統）で約 20 分

- JR和歌山駅から（350 円）

和歌山バス（4 番のりば：272 系統・273 系統）で約 30 分

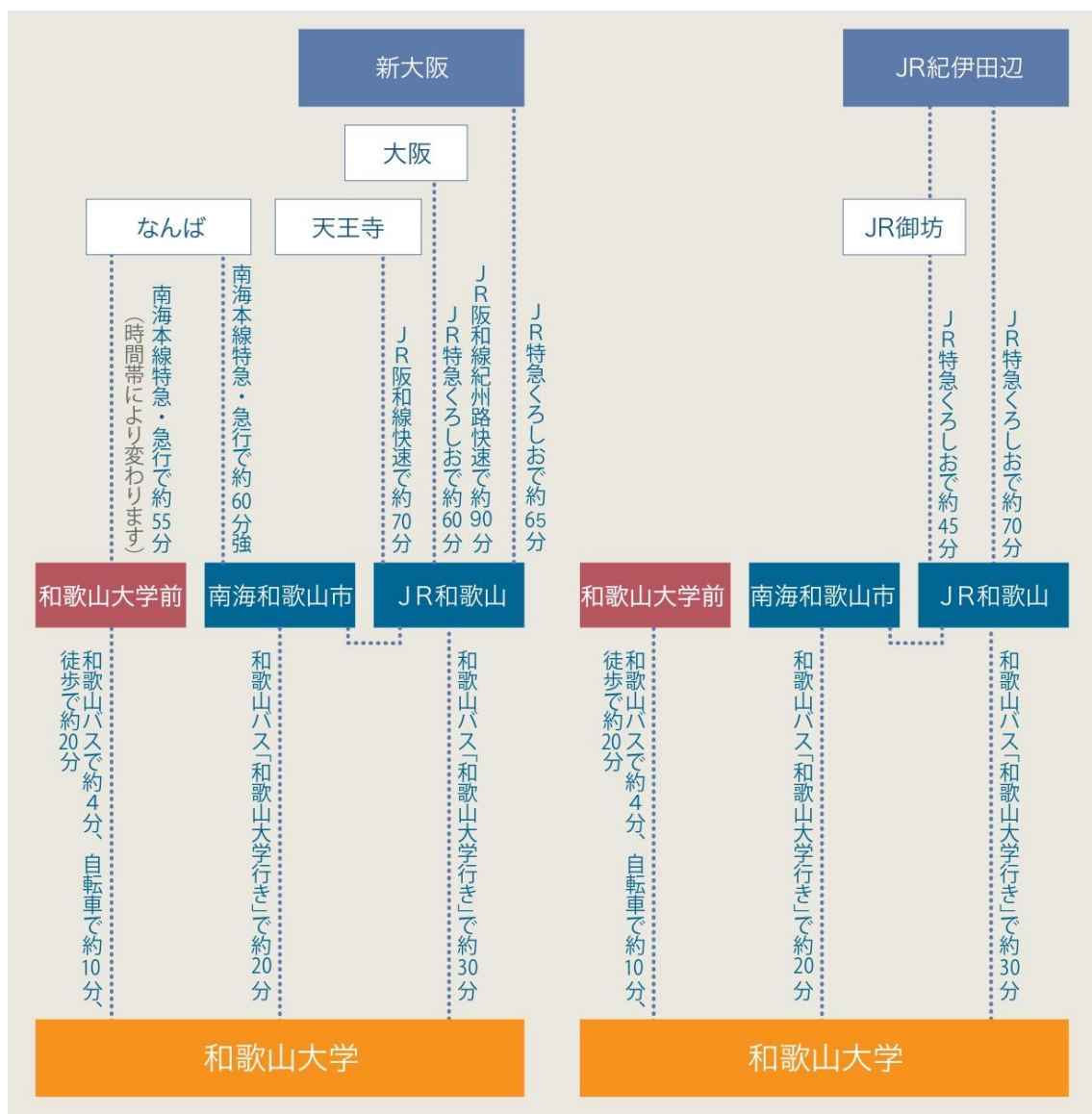
- 「大学口」「大学門前」各停留所は和歌山大学の最寄停留所ではありませんのでご注意ください。

● 電車でのアクセスマップ



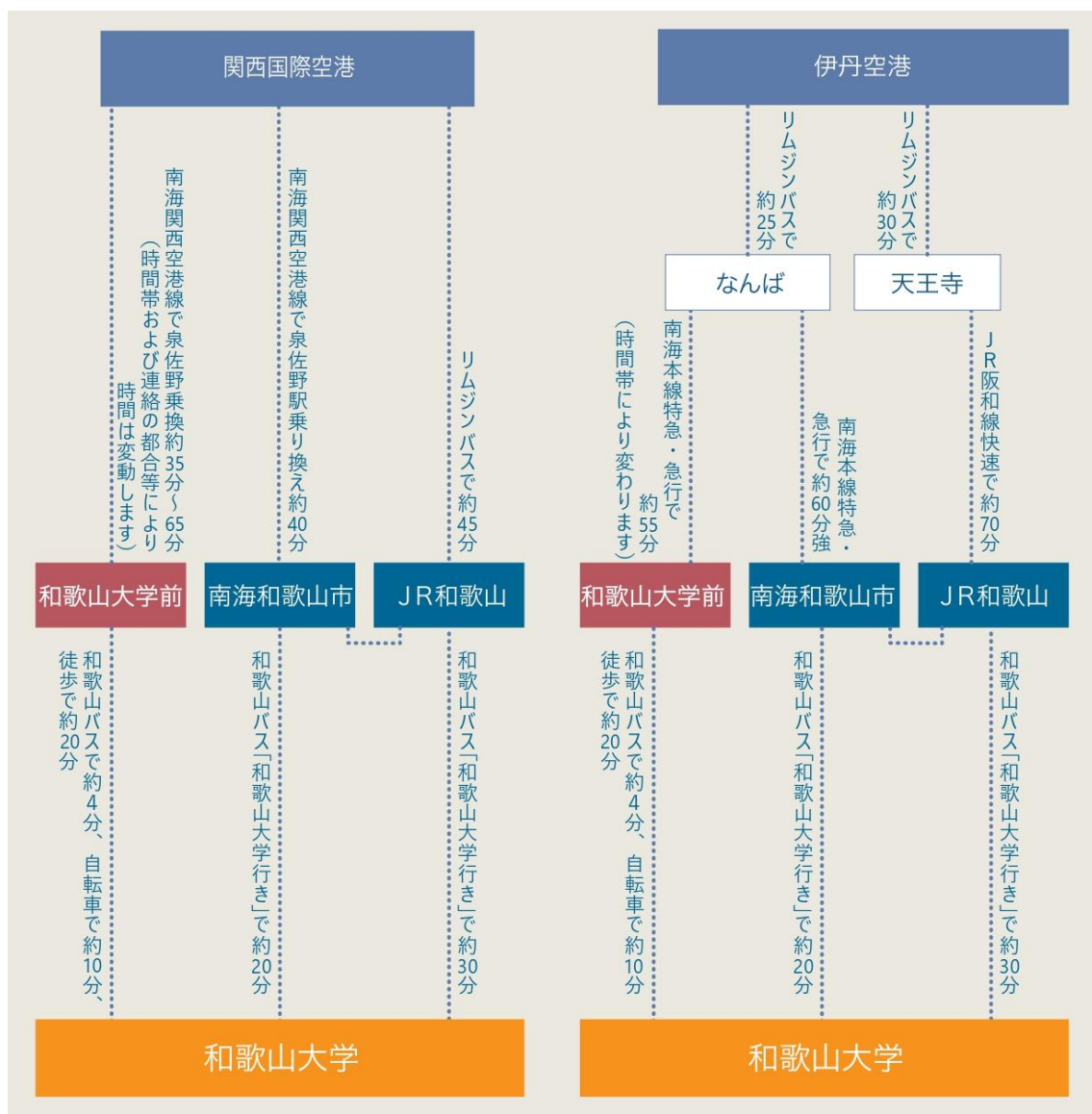
● アクセスマップ





- 大阪なんばから
南海本線特急で和歌山大学前駅まで約55分
- 天王寺から
JR阪和線快速で和歌山駅まで約70分
- 新大阪から
JR線特急くろしおで和歌山駅まで約65分
- 紀伊田辺から
JRきのくに線特急くろしおで和歌山駅まで約70分

南海和歌山市駅、和歌山大学前駅、JR和歌山駅からは和歌山バス（和歌山大学行き）をご利用ください。



- 関西国際空港から
南海関西空港線で泉佐野駅、南海本線急行・特急に乗り換えて和歌山大学前駅まで約 35 分
リムジンバスで和歌山駅まで約 45 分
- 伊丹空港から
リムジンバスでなんばまで約 25 分、なんばから南海本線特急で和歌山大学前駅まで約 55 分
リムジンバスで天王寺まで約 30 分、天王寺から J R 阪和線快速で和歌山駅まで約 70 分

南海和歌山市駅、和歌山大学前駅、J R 和歌山駅からは和歌山バス（和歌山大学行き）をご利用ください。